



幸せはどこにある？

1 展覧会名

幸せはどこにある？

2 主催等

主催 茨城県近代美術館

後援 水戸市，朝日新聞水戸総局，茨城新聞社，株式会社茨城放送，NHK水戸放送局，
産経新聞社水戸支局，東京新聞水戸支局，日本経済新聞水戸支局，毎日新聞水戸支局，
読売新聞水戸支局

3 会期

平成27年11月21日（土）～平成28年1月17日（日）46日間

休館日：毎週月曜日※ただし11月23日（月祝），1月11日（月祝）は開館，

11月24日（火），12月29日（火）～1月1日（金），1月12日（火）は休館

開館時間：午前9時30分～午後5時（入場は午後4時30分まで）

4 観覧料

一般600（480）円，高大生360（310）円，小中生240（170）円

※（ ）内は20名以上の団体料金

※満70歳以上の方，障害者手帳等をご持参の方，高校生以下（冬休み期間を除く土曜日のみ）は入場無料

5 展覧会概要

あなたにとって「幸福」とは何でしょうか？私たちが「幸せ」になるために必要なのは，お金，地位，それとも名誉，権力…？

近年，GDP（国内総生産）といった経済的な尺度に替わる，新しい物差しとして「幸福度」「GNH（国民総幸福量）」が注目を集め，それらを測る科学的な学問として「幸福学」が脚光を浴びています。国連が発表した幸福度ランキング調査によると，先進国である日本は第46位。物質的豊かさは，必ずしも生活や人生の満足度につながっていないということが明らかになってきました。「幸福度」は所得などの経済的要素だけではなく，家族や社会との関わり合いといった様々な要素で構成されています。「幸せはどこにある？」という問いは，高度に成熟した社会に生きる我々の多様な価値観を浮かび上がらせることになるでしょう。

この秋の企画展は，茨城県近代美術館の所蔵品約3,700点のなかから選りすぐりの作品を新たな視点で発掘するテーマ展です。今回の発掘テーマは「幸福」。古今東西，美術作品には，我々の人生の大切なワンシーンが描かれてきました。我々の人生における「幸せ」が甘美で優しいものばかりではなく，時に厳しさの中にこそあり，また時にほろ苦いものであるように，作品に描き留められた「幸せ」のイメージもまた，ひととおりでありません。作品から拾い集めた様々なかたちの「幸せ」にふれながら，多様な角度から「幸福」について考えるヒントになれば幸いです。

【広報文1】(53字)

「コミュニティ」「しごと」「逆境」「ユートピア」をキーワードに、美術作品にあらわされた「幸せ」を探ります。

【広報文2】(115字)

古今東西、美術作品には、我々の人生の大切なワンシーンが刻まれてきました。「コミュニティ(共同体)」「しごと」「逆境」「ユートピア(理想郷)」などいくつかの言葉をキーワードに、美術作品にあらわされた様々な「幸せ」のかたちを探ります。

【広報文3】(226字)

茨城県近代美術館コレクション約3,700点のなかから選りすぐりの作品を新たな視点で発掘するテーマ展です。古今東西、美術作品には、我々の人生の大切なワンシーンが描かれてきました。「コミュニティ(共同体)」「しごと」「逆境」「ユートピア(理想郷)」などいくつかの言葉をキーワードに、美術作品にあらわされた様々な「幸せ」のかたちを探ります。「幸せはどこにある？」という問いは、高度に成熟した社会に生きる我々の多様な価値観を浮かび上がらせることになるでしょう。

6 出品作品総数 約90点、以下章立て、主な出品作品(予定)

- I コミュニティ(共同体) 一家族・仲間・ふるさと
石井柏亭「麻雀」1926年、前川千帆「ミニチアゴルフ」1931年、
野田哲也「日記 1977年8月10日」1977年(新収蔵・初出品) 他
- II しごと
小林古径「禄」1908年、小川芋銭「小六月」1937年、鈴木良三「手術」1939年、
酒泉淳「陶房の一日」1956年 他
- III 逆境
横山大観「朝顔日記」1900年頃、菱田春草「砧」1905年頃、北川民次「重荷」1946年 他
- IV ユートピア(理想郷)
菱田春草「林和靖」1908年、横山大観「流燈」1909年、小野竹喬「武陵桃源」1918年頃 他

7 展覧会の特徴と見どころ



(1) 「I 蔵品(あいぞうひん)」展、はじめます。

「I 蔵品展」は、茨城県近代美術館の所蔵品約3,700点のなかから選りすぐりの作品を新たな視点で発掘するテーマ展です。当館を代表する名品から、これまであまり知られていなかった逸品まで、様々な角度から茨城近美のコレクションに光を当てます。ハート形を用いたロゴには、「愛蔵品」「I(わたし)」の所蔵品、「Ibarakiの所蔵品」、そして「I♥Ibaraki(アイ・ラブ・イバラキ)！」のメッセージを込めました。茨城の皆さんの身近にある当館のコレクションをもっと知っていただき、「わたしのお気に入り」の一品を見つけて頂きたいと考えています。

(2) 「I 蔵品展」、第一回テーマは、「幸せ」。

近年、GDP(国内総生産)といった経済的な尺度に替わる、新しい物差しとして「幸福度」「GNH(国民総幸福量)」が注目を集めています。今回、当館コレクションから、ありったけの「幸せ」関連作品を集めました。それらの中にあらわされた「幸せ」のかたちをいくつかのキーワードによって採集していくという構成です。古今東西、さまざまな人生を描いてきた美術作品の中に隠された「幸せ」を見つけていくことで、自分自身の「幸せの物差し」を考えるきっかけになれば幸いです。

(3) 一つ目のキーワードは、「コミュニティ(共同体)」。

一つ目のキーワードは「コミュニティ」です。多くの芸術家たちは、家族、仲間、ふるさとなど、自分を取りまく人や場所を記録し、描く対象としてきました。「ともに生きる喜び」は国や時代を越えて、普遍的な主題といえますが、「わたしをめぐる繋がり」の場面にあらためてフォーカスしてみたいと思います。家族で楽しく卓を囲む石井柏亭「麻雀」、子どもの成長や家族の出来事をとらえた野田哲也の「日記」シリーズ、都会の街でレジャーに興じる人々を描いた前川千帆「新東京百景」シリーズなどを展示します。

(4) 二つ目のキーワードは、「しごと」。

我々の生活を支える上で不可欠なのが、「しごと」です。人は働かなくては、生きてはいけません。しかし労働がもたらすものは、対価としてのお金だけとは言い切れないものです。働くことは、「自己実現」のひとつにもなり、それが誰かの人生の役に立ち、そして社会全体の幸福につながっている。楽しいだけではありませんが、充実の時間です。にこやかな笑顔で農作業にいそしむ男女を描いた小川芋銭「小六月」、緊迫した手術中の現場をとらえた鈴木良三の「手術」などを展示します。

(5) 三つ目のキーワードは、「逆境」。

幸せの反対は何でしょうか。三つ目のキーワードは「逆境」です。人生には喪失、挫折といった出来事がつきものです。不幸は幸せの映し鏡で、我々があらためて「幸せ」について考えるのは、困難の淵にある時かもしれません。普段、あれもこれもと望んでしまうのが人間ですが、逆境の中でこそ見えてくるひとつの希望とは、何でしょうか。帰らぬ夫を待つ妻を描いた菱田春草の「砧」、戦後の人間像を描いた北川民次「重荷」などを展示します。

(6) 四つ目のキーワードは、「ユートピア（理想郷）」。

最後のキーワードは「ユートピア（理想郷）」です。人は、現実に向き合いながらも、今ここにはない幸せ、理想を描きながら生きています。ユートピアは、「幸せ」を考えた究極のかたち。理想はそれぞれ違うから面白いものです。ここでは「ねがう心」が描き出した幻想的な世界をご紹介します。当館自慢の名品、願いが叶ったときにガンジス川に感謝を込めて灯火を流す儀式の場面を描いた横山大観の「流燈」、桃源郷を描いた小野竹喬の「武陵桃源」などを展示します。

8 企画展関連イベント

(1) オープニングセレモニー（クリスマス市マルシェ・ド・ノエル「開村式」同時開催 ※5ページ参照）

日時：11月21日（土）9:10～9:30

会場：1階エントランスホール

定員：先着100名（参加者は企画展無料招待）

応募：往復はがき（往信用文面に希望者全員の住所、氏名、年齢、電話番号、返信用宛名面に宛先を明記）または来館による申込み。

締切：11月17日（火）

(2) マルシェ・ド・ノエル×五感で楽しむミュージアム！

当館周辺で開催されるマルシェドノエルの3日間、美術館の中でたっぷりお楽しみいただけるスペースをご用意します。

その1 “さわって楽しむ” ワークショップ「贈り物」のそとがわをつくろう。

日時：11月21日（土）13:00～15:00

11月22日（日）、11月23日（月祝）10:00～12:00、13:00～15:00

会場：1階エントランスホールわき

定員：50名程度 ※小学生以下が対象ですが、誰でも参加可能です（未就学児は保護者同伴）

内容：幸せをテーマにした工作

その2 “見て楽しむ” 「しあわせ美術館」ツアー！

日時：11月21日（土）

- ①11:00～「ようこそ美術の森へ」学芸員と一緒に美術のステキを探しに行こう。
- ②14:00～「ハロー！ミュージアム」いつもは学校への出前講座。今日は館内でホンモノを見よう。

11月22日（日）

- ③11:00～「学芸員と行く！幸せはどこにある？展」
学芸員と一緒に幸せ展を探検しよう。
- ④14:00～「バックヤードツアー」美術館の裏側，ご案内します。

11月23日（月祝）

- ⑤11:00～「ハロー！ミュージアム」いつもは学校への出前講座。今日は館内でホンモノを見よう。
- ⑥14:00～「バックヤードツアー」美術館の裏側，ご案内します。

定員：無し（要企画展チケット）

※ただし，22・23日の「バックヤードツアー」は定員15名（小学生以上，要企画展チケット）

その3 “見て楽しむ” シネマナイト「幸せはここにある！」キノ・イグルー×茨城県近代美術館

日時：11月22日（日） 受付17:00～，上映開始17:30～

会場：1階エントランスホール

定員：先着200名（参加無料）

作品：「もぐらくんとクリスマス」，「イモムシくんは大スター」他

内容：全国を旅する移動映画館，キノ・イグルーが近美にやってきます。

マルシェ・ド・ノエルの後は、大人も子どもも心躍るシネマの夜をお楽しみください。

（3）“味と香りで楽しむ” 珈琲セミナー「コーヒー幸福学」

日時：12月6日（日） 13:00～

会場：2階企画展示室，地階講座室

講師：鈴木誉志男氏（サザコーヒー会長）

定員：先着60名（要企画展チケット）

申込方法：往復はがき（往信用文面に希望者全員（1枚につき4名まで）の住所，氏名，年齢，電話番号，返信用宛名面に宛先を明記），または来館による申込み

締切：12月1日（火）

内容：企画展担当学芸員と共に企画展鑑賞後，サザコーヒー会長であり，当館友の会会長の鈴木氏がコーヒーにまつわるお話をします。自分のお気に入りのコーヒーカップを持参し，各種のコーヒーをお楽しみ頂きます。

（4）“聞いて・見て楽しむ” 学芸員によるギャラリートーク

日時：1月9日（土） 14:00～

会場：2階企画展示室

定員：100名（要企画展チケット）

（5）“聞いて楽しむ” 美術講演会

日時：1月10日（日） 14:00～

講師：前野隆司氏（慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授）

定員：250名（申込不要，参加無料）

内容：注目を集める「幸福学」の第一人者，前野教授に科学的な視点から見た「幸せのメカニズム」についてお話しいたします。

9 その他イベント

(1) クリスマス市マルシェ・ド・ノエル

日時：11月21日（土）、22日（日）、23日（月祝）の3日間 9:30～16:00

場所：近代美術館正面出入口及びテラス

内容：ヨーロッパのクリスマス市をイメージした物販と飲食（66店舗出店予定）

(2) 子どものためのオープンワークショップ“冬”

日時：12月12日（土）、13日（日）

各日とも 10:00～12:00, 13:30～15:30

会場：地階講座室

定員：50名程度

対象：幼児から小学生が主な対象。時間内であれば、だれでも自由に参加できます。

（就学前の児童は保護者の方と一緒に参加。）

(3) 第3回美術館アカデミー

日時：12月20日（日）14:00～

会場：地階講堂

定員：250名（申込不要，参加無料）

講師：向野康江氏（茨城大学教授）

(4) ミュージアムコンサート

日時：12月25日（金）11:00～，14:00～（各回45分程度）

会場：1階エントランスホール

定員：各回150名（申込不要，参加無料）

出演：坂口大介（バトリンサクソフォン），好田尚史（クラリネット）

出品作品図版

※1 こちらに掲載された作品は、本展覧会の広報目的の場合にのみ掲載可能です。

※2 画像には、作家名・題名・制作年・所蔵を必ず入れてください。

[コミュニティ]



前川千帆「〈新東京百景〉ミニチアゴルフ」1931年
茨城県近代美術館蔵

[しごと]



小川芋銭「小六月」1937年 茨城県近代美術館蔵

[しごと]



小林古径「禄」1908年
茨城県近代美術館蔵

[逆境]



菱田春草「砧」1905年頃 茨城県近代美術館蔵

[ユートピア]



小野竹喬「武陵桃源」(左隻) 1918年頃
茨城県近代美術館蔵



小野竹喬「武陵桃源」(右隻) 1918年頃
茨城県近代美術館蔵